

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業			沖縄 2 1 世紀ビジョン基本計画該当箇所	第 3 章 - 2 - (1) - イ	
担当部課名	教育委員会 社会教育	事業実施（予定）年度	平成 2 4 年度 ~ 2 8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
事業内容	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明に改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,500	-			
		(b) 予算現額	14,700	-			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 800	-			
		(d) 繰越額	-	10,290			
	A . 計 (b+d)		14,700	10,290			
	B . 執行済額		4,410	10,290			
	うち交付金充当額		3,528	8,232			
	次年度繰越額		10,290	0			
	執行率（％）(B/A)		30.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・ 駅伝・ロードレースの運動場入退場の動線協議において同大会専門部と不測の日数を要し繰越を行った。 ・ 不用額の ▲ 800 千円は、調査計画委託業務の入札減額によるものです。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ 今帰仁村運動公園機能強化に係る基本計画策定	目 標	運動公園機能強化に係る基本計画策定				
		実 績	運動公園機能強化に係る基本計画策定				
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	・ 予定どおり基本計画を策定することができた。次年度以降、この基本計画をもとに運動公園の機能強化に取り組みたい。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・ 今帰仁村運動公園機能強化に係る基本計画策定	目 標		運動公園機能強化に係る基本計画策定			
		実 績		運動公園機能強化に係る基本計画策定			
	〔参考指標〕	目 標					
		実 績					
	進捗状況説明	・ 予定どおり基本計画を策定することができた。次年度以降、この基本計画をもとに運動公園の機能強化に取り組みたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・次年度以降、各施設の実施設計を行い、施設改修工事を執行する。 実施設計に当たっては、品質や経済性に加え、環境に配慮した施設となるよう留意する必要がある。	・実施設計に当たっては、使い勝手のよい施設にするために、利用者の視点で、製品の比較検討や設計を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・利用者にとってより使い易い運動公園となるように機能向上を図ることで、村民はもとより、村外からの合宿やキャンプ等を積極的に誘致し、交流人口を増加させ、地域活性化につなげたい。具体的には、H24年度に基本計画策定、H25年度にテニスコートの改修、H26年度にプールの改修、H27年度にイベント広場の改修をそれぞれ予定している。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>14,700</td><td>14,700</td><td>11,760</td><td>2,940</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,700	14,700	11,760	2,940	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,700	14,700	11,760	2,940	0										
今帰仁村 14,700千円 → 委託費 14,700千円 → (株)国建 14,700千円 〔 運動公園機能強化にかかる委託業務 〕														
資金の流 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○ 費目・用途は事業目的を達成するために必要なもので額についても適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	今帰仁城跡周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 年度～ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	・世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効利用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,200	-			
		(b) 予算現額	16,464	-			
		(c) 増減額 (b-a)	2,264	-			
		(d) 繰越額	-	12,054			
	A . 計 (b+d)		16,464	12,054			
	B . 執行済額		4,410	12,054			
	うち交付金充当額		3,528	9,643			
	次年度繰越額		12,054	0			
	執行率（％）(B/A)		26.8%	100.0%			
予算の状況の説明		・河川計画にあたり、多自然川づくりの「川道（法線）」計画調整に不測の日数を要し繰越を行った。 ・当初計画していた事業内容をすべて実施し、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・河川環境調査と土質調査業務の数量が増になったため、当初予算を2,264千円増額補正した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・実施設計・測量・調査設計の実施	目 標	（ 実施設計・測量・調査設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施設計・測量・調査設計の完成				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・河川延長560mの実施設計・測量・調査設計業務を実施した。特に河川環境調査を実施し、河川環境に配慮した設計とした。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・実施設計・測量・調査設計の実施	目 標	（ ）	（ 実施設計・測量・調査設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		実施設計・測量・調査設計の完成			
	[参考指標]	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・河川延長560mの実施設計・測量・調査設計業務を完了した。今後、河川整備工事を実施する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本村の観光拠点である世界遺産今帰仁城跡との景観を配慮した幹線整備設計とした。 ・今後も河川環境に配慮し、工事を推進する必要がある。	・今後、河川環境に配慮しながら、改修工事を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
・今後は、世界遺産今帰仁城跡の景観に配慮した工事(用地取得及び右岸工事、左岸工事等)を推進する。また、河川敷の空間を有効活用し、治水安全度の向上を図るとともに、地域で緑化や美化に取り組むことで、観光客受入体制の強化につなげたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>16,464</td><td>16,464</td><td>13,171</td><td>3,293</td><td>0</td></tr> </table> 今帰仁村 16,464千円 → 委託費 16,464千円 → (株)国建 16,464千円 (今帰仁城跡周辺環境整備に係る実施設計・測量・調査設計委託業務)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,464	16,464	13,171	3,293	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,464	16,464	13,171	3,293	0										
資金の流 点、検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○費目・使途は事業目的の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書面により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	今帰仁の駅「そーれ」機能強化整備事業			沖縄 21 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	経済課	事業実施 (予定) 年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	・今帰仁の駅「そーれ」は、村の特産物販売施設である。本部町の美ら海水族館や世界遺産の今帰仁城跡、古宇利島への本部半島周遊観光ルート上で今帰仁村の中心地に位置している。観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000	-			
		(b) 予算現額	35,410	-			
		(c) 増減額 (b-a)	15,410	-			
		(d) 繰越額	-	34,298			
	A . 計 (b+d)		35,410	34,298			
	B . 執行済額		1,112	31,500			
	うち交付金充当額		889	24,311			
	次年度繰越額		34,298	0			
	執行率 (%) (B / A)		3.1%	91.8%			
予算の状況の説明		・予算15,410千円の増は、実施設計による工事費の増である。 ・施設設計にあたり、浄化槽末端排水計画調整に、不測の日数を要し繰越を行った。 ・不用額の▲2,798千円は、入札減額によるものです。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標 (指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・実施設計・建築工事の実施	目 標	(・実施設計・建築工事の実施)	()	()	()	
		実 績	・実施設計・建築工事の完成				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・今帰仁の駅「そーれ」のトイレについて、実施設計及び建築工事を予定どおり実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標 (指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	・実施設計・建築工事の実施	目 標	()	(・実施設計・建築工事の) 実施	()	()	()
		実 績		・実施設計・建築工事の完成			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・今帰仁の駅「そーれ」のトイレ (面積41.2㎡ 浄化槽 (224人槽)) が完成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光客増加に対応するために、トイレを新設整備し観光拠点施設としての基盤強化が図られた。	・観光拠点施設としての基盤強化に伴い、今後は、適正な施設管理に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
・今帰仁の駅「そーれ」等を訪れる観光客等が快適に利用できるように、適正な施設管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>31,500</td><td>31,500</td><td>25,200</td><td>6,300</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,500	31,500	25,200	6,300	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,500	31,500	25,200	6,300	0										
今帰仁村 31,500千円 → 委託費 1,680千円 → (株)国吉設計 1,680千円 〔今帰仁の駅「そーれ」浄化槽及びトイレ新築工事に係る設計委託業務〕 → 工事請負費 29,820千円 → 嘉陽組(有) 29,820千円 〔今帰仁の駅「そーれ」浄化槽及びトイレ新築工事〕														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事請負業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○ 費目・使途は事業目的を達成するのに必要なもので額についても適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	古宇利ふれあい広場機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	教育委員会 社会教育	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	・平成17年2月古宇利大橋開通、平成22年12月ワルミ大橋開通により古宇利島への来島者が大幅に増加した。近年の観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	20,000	-			
		(b)予算現額	35,351	-			
		(c)増減額(b-a)	15,351	-			
		(d)繰越額	-	33,876			
		A. 計(b+d)	35,351	33,876			
	B. 執行済額		1,475	32,487			
	うち交付金充当額		1,180	24,809			
	次年度繰越額		33,876	0			
	執行率(%) (B/A)		4.2%	95.9%			
予算の状況の説明		・予算15,351千円の増は、実施設計による工事費の増である。 ・施設設計にあたり、浄化槽末端排水計画調整に、不測の日数を要し繰越を行った。 ・不用額の▲1,389千円は、入札減額によるものです。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・実施設計・建築工事の実施	目 標	(・実施設計・建築工事の実施)	()	()	()	
		実 績	・実施設計・建築工事の完成				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・古宇利島(ふれあい広場)のトイレについて、実施設計及び建築工事を予定どおり実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・実施設計・建築工事の実施	目 標	()	(・実施設計・建築工事の実施)	()	()	()
		実 績		・実施設計・建築工事の完成			
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・古宇利島(ふれあい広場)のトイレ(面積 41.3㎡ 浄化槽(144人槽))が完成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光客増加に対応するために、トイレを新設整備し観光拠点施設としての基盤強化が図られた。	・観光拠点施設としての基盤強化に伴い、今後は、適正な施設維持に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
・古宇利島を訪れる観光客等が快適に施設を利用できるように、適正な施設管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>32,487</td><td>32,487</td><td>25,989</td><td>6,498</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	32,487	32,487	25,989	6,498	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
32,487	32,487	25,989	6,498	0										
今帰仁村 32,487千円 委託費 2,121千円 (株)国吉設計 2,121千円 古宇利ふれあい広場浄化槽及びトイレ設計に係る委託業務 工事請負費 30,366千円 (株)国吉建設 30,366千円 古宇利ふれあい広場浄化槽及びトイレ工事														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事請負業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○ 費目・使途は事業目的を達成するのに必要なもので額についても適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	沖縄関係戸籍の電算化事業			沖縄 21 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章－2－（5）－イ	
担当部課名	住民課	事業実施 （予定）年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	戦後処理問題の解決 － 1 0 －（2）	
事業内容	・沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）	予算の 状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	31,283	-			
		(b)予算現額	28,012	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,271	-			
		(d)繰越額	-	28,012			
	A．計(b+d)		28,012	28,012			
	B．執行済額		0	28,012			
	うち交付金充当額		0	22,409			
	次年度繰越額		28,012	0			
	執行率（％）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・電算化にあたり1→3戸籍への変更があり、かつ原簿に想定以上の劣化が見られることより作業時間と記載事由の判読に不測の日数を要し繰越を行った。 ・予算減額については、当初の予算額を下回る金額で契約をしたことによるものである。当初計画していた事業内容は全て実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度
	・仮戸籍の電算化の実施	目 標	(仮戸籍の電算化の実施)	()	()	()	()
		実 績	仮戸籍の電算化の実施				
	・対象戸籍数	目 標	(49,757枚)	()	()	()	()
		実 績	49,884枚				
	達成状況説明	・仮戸籍等沖縄関係戸籍49,884枚の電算化を実施した。戸籍の散逸を防ぐとともに証明の効率化が図られた。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	・仮戸籍の電算化率100％	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・仮戸籍等沖縄関係戸籍49,884枚の電算化を実施した。戸籍の散逸を防ぐとともに証明の効率化が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沖縄関係戸籍は紙媒体による保存であるため、劣化が著しく長期保存が懸念されていたが、電算化することにより保存、検索、照明事務の効率化が図られた。	・電算化システムを適正に活用するために、沖縄関係戸籍の事務処理に必要な知識を高めるよう努める。
今後の取り組み方針		
・安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを提供できるよう、システムが円滑に機能するように適切に維持管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>28,012</td><td>28,012</td><td>22,409</td><td>5,603</td><td>0</td></tr> </table> 今帰仁村 28,012千円 → 委託費 28,012千円 → (株)オーシーシー 28,012千円 〔 沖縄関係戸籍の電算化に係る委託業務 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	28,012	28,012	22,409	5,603	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
28,012	28,012	22,409	5,603	0										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 費目・使途は事業目的を達成するのに必要なもので額についても適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	今帰仁村						
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4－	地域防災計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ	
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
					－ 1 0 －（ 2 ）		
事業内容	・地域住民の安心・安全の確保のため地域防災計画の見直しを行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	4,000	-			
		(b)予算現額	4,095	-			
		(c)増減額（b-a）	95	-			
		(d)繰越額	-	4,095			
		A．計（b+d）	4,095	4,095			
		B．執行済額	0	4,095			
		うち交付金充当額	0	3,276			
		次年度繰越額	4,095	0			
		執行率（％）（B/A）	0.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	・計画策定にあたり、地域住民及び関係機関との協議に不測の日数を要し繰越を行った。 ・予算の範囲内で適正な執行ができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・地域防災計画の策定	目 標	（ 地域防災計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	地域防災計画の完成				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・平成25年11月、村の地域防災計画（案）が村地域防災会議において承認され、地域防災計画書及び地震・津波防災マップが完成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・地域防災計画の策定	目 標	（ ）	（ 地域防災計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		地域防災計画の完成			
	[参考指標]	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・策定された村の地域防災計画書を関係機関に配布した。また、津波防災マップを全世帯に配布した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地域防災計画に沿って地域防災力の強化をはかり、災害に対する備え、発災時の対応シュミレーション、復旧に至るまで地域全体で考え、災害に対する意識向上させる必要がある。	・一定の期間ごとに、今後想定される災害の種類、規模等を検証し、必要に応じて計画の見直しを行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・今回策定した地域防災計画に沿って、地域防災力の強化、自衛防災組織の育成等を推進するため、地域住民が日常生活の中で災害を意識し、防災に対する備え、災害時に迅速に対応できるように取り組む必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,095	4,095	3,276	819	0

今帰仁村
4,095千円

→

委託費
4,095千円

→

(株)国建
4,095千円

地域防災計画策定に係る委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 費目・使途は事業目的を達成するのに必要なもので額についても適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	